

## 編集委員が選んだ本

### 『シベリア抑留と戦後日本 帰還者たちの闘い』

長澤淑夫／有志舎／2011年1月／2400円（税別）  
シベリア抑留者への補償は、その他の地域からの引揚者に比べて著しく差別されていた。補償はすでに終わっていると全く譲らない政府に対して、全国抑留者補償協議会（全抑協）が粘り強く運動を行なった。著者は全抑協の運動の分析から、政府の論理を浮かび上がらせていく。その論理は捕虜への適切な補償を求める国際法を、全く無視したものであった。全抑協以外にも運動体はあったが、自民党の要求通りに自民党とのみ結びついたことにより、政府の論理に呑み込まれてしまう。運動体の対比からも、民衆を救わない政府の論理が見え隠れする。シベリア抑留の概要もあり、初学者の理解を助けてくれる。

### 『植民地朝鮮と日本』

趙景達／岩波新書／2013年12月／820円（税別）  
「儒教的民本主義」が本書を理解するキーワードである。朝鮮王朝時代の儒教的民本主義は、愚民観から自由ではなかったが、民衆の異議申し立てを認める政治文化を持っていた。ところが、韓国併合後の武断政治はその朝鮮の政治文化を理解しようとはしなかったため、朝鮮人に大変な苦痛を強いるものとなった。そして、その鬱屈した民族意識の噴出が3・1運動であった。  
武断政治から文化政治への転換は、朝鮮人と共有する政治文化構築のためであったと位置づけられるが、文明の名において朝鮮を支配しようとする日本の「誠意」が朝鮮民衆に伝わるはずはなかった。逆に満州事変以降の皇民化政策進展のなかで、朝鮮社会に通底する儒教的民本主義とのギャップは広がっていきばかりであった。  
日本の植民地経営が朝鮮の近代化に寄与したという議論が繰り返されているが、未だにエスノセントリズムを克服できていないことを気づかせてくれる良書である。

### 『永続敗戦論 戦後日本の核心』

白井聡／太田出版／2013年3月／1700円（税別）  
福島第一原発の事故後の、「復興予算の流用」というニュースに接し、怒りを感じたのは私だけではあるまい。しかし、そうした個別の事態に対する思いが、思いにとどまるだけなら、日々新たに生起する無数の報道に押し流されてしまうだろう。有意義な対処とは、「なぜ、そうしたことが起きてしまうか」根源から追求するとこから生まれるのではないだろうか。  
この著作は、その意味で、啓蒙の書であると感じた。戦後の日本が、戦前戦中の「無責任の体系」とどう共通した構造をもっているか。このまま進んだらどうなるか…目からウロコが落ちる。

### 『経済ジェノサイド』

中山智香子／平凡社新書／2013年1月／840円（税別）  
現在の日本の財政状況が危機的であることは、誰でも知っている。  
では、どうしたらいいか…と、打開策を考えると、すでに、格差拡大の元凶として有名な(?)経済の新自由主義に委ねたら、どうなるか?  
絵空事ではない。すでに、かつてのチリで、比較的最近のアイスランドなどで、実行に移された。魅力的なうたい文句とともに。そして、本書に一例として出てくる「教育バウチャー制度」というのは、あの、関西の、「なんかやってくれるんじゃないか」という類の人気がある某首長が心酔しているとのことだ。「危機の解決策」として出されないともかぎらない。

### 『物語 朝鮮王朝の滅亡』

金重明／岩波新書／2013年8月／820円（税別）  
朝鮮が日本の植民地になる過程を物語風に平易に描いた。「日本と朝鮮の現在と未来を考える上で必要不可欠な知識であるにもかかわらず、多くの人々の常識になっているとはとても言えないのが現状」だからだ。不条理な植民地化過程の奔流を無視して、一部の事象を強調して「日本は悪くない」とする歴史観はどうしたら改められるのか。ナチスも当時のドイツ国民に恩恵を与えた面があったが、ドイツはその犯罪性を克服する方向に変わり、今やヨーロッパの牽引的役割を担っているのだが。

### 『わたしが正義について語るなら』

やなせたかし／ポプラ社／2013年11月／780円（税別）  
「ほんとうの正義と言うものは、けっしてかっこうのいいものではないし、そしてそのためにならず自分も深く傷つくもの」が、アンパンマンに込めた筆者の「正義」観。生い立ちから人生観・社会観にまで思いを馳せたこの本を読み、94歳で他界した「人間やなせたかし」から学ぶべきことが多いことを実感する。

### 『366日 命の言』

大橋巨泉／ベスト新書／2013年10月／800円（税別）  
「天皇の臣民としての義務が何よりも優先する。」という小林秀雄と、「あなうれし とにかくにも生き延びて 戦やめるけふの日にあふ」と言い残した河上肇。1年366日を、命日を追ってその人の言葉と人生を語る本。オードリー・ヘプバーン、チャールズ・チャップリンなど東西古今を問わず収録された。仲井真沖縄県知事の辺野古沖埋め立て承認した際の「安倍総理絶賛発言」は、どう解説されるだろうか。

定価（本体200円＋税） 編修・発行 実教出版株式会社 代表者 戸塚 雄次  
2014年2月25日 印刷 発行所 〒102-8377 東京都千代田区五番町5 Tel.03-3238-7777  
2014年2月30日 発行 <http://www.jikkyo.co.jp/>